

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：土木費 項：都市計画費 目：都市公園費

事業名 全国都市緑化ぎふフェア開催準備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 都市公園・交通局 都市公園課 都市緑化推進係 電話番号：058-272-1111(内4914)

E-mail：c11669@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 201,409 千円 (前年度予算額： 87,615 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	87,615	0	0	0	0	0	0	0	87,615
要求額	201,409	0	0	0	0	0	0	0	201,409
決定額	175,978	0	0	0	0	0	0	0	175,978

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

岐阜県では、平成27年度に「岐阜県都市公園活性化基本戦略」、令和3年度に「新・岐阜県都市公園活性化基本戦略」を策定し、県営公園において各公園のコンセプトの下、そのポテンシャルを最大限に発揮させるため、戦略的に各般の施策を展開している。新戦略の最終年度であり、10年間に及ぶ一連の改革の集大成の令和7年度に、岐阜県の都市公園を舞台に、清流の国ぎふの魅力やこれまでの戦略に基づく取組の成果を全国に発信する機会として、「第42回全国都市緑化ぎふフェア」を開催する。

(2) 事業内容

「第42回全国都市緑化ぎふフェア」の開催に向けて、各種実施計画に基づくフェアの準備を進める。

(3) 県負担・補助率の考え方

新・岐阜県都市公園活性化基本戦略に基づく都市公園の活性化に向けた取組みであり、県が主体となって実施する。

(4) 類似事業の有無

- ・花フェスタ95
- ・花フェスタ2005
- ・花フェスタ2015

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	7,406	先催県調査、関係団体協議 等
需用費	1,831	消耗品費
役員費	919	通信運搬料
使用料	661	高速道路使用料
負担金	188,092	実行委員会負担金
負担金	2,500	川崎フェア自治体出展花壇負担金
合計	201,409	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

新・岐阜県都市公園活性化基本戦略

(2) 国・他県の状況

都市緑化フェアは、昭和58年から実施されており、令和6年度の川崎フェアが第41回となる。全国の県、市が持ち回りで主催し開催している。

(3) 後年度の財政負担

令和7年度の実施運営経費が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

新・岐阜県都市公園活性化基本戦略に基づく活性化に向けた取組みであり、県が主体となる。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
令和7年度の開催に向け、令和6年度中に各種実施計画に基づく開催準備を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

令和7年度の全国都市緑化ぎふフェアに向けた、各種実施計画に基づく開催準備を目標としているため、達成度を数値化できない。

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	
令和4年度	全国都市緑化ぎふフェア 基本構想の策定 先催県（北海道フェア）への花壇出展
令和5年度	令和7年度当初予算にて追加

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	岐阜県の都市公園を舞台に、清流の国ぎふの魅力やこれまでの戦略に基づく取組の成果を全国に発信する機会として、全国都市緑化ぎふフェアの開催が適しており、引き続き令和7年開催に向けた準備が必要である。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	当初の予定通り、令和5年度に実行委員会の設立目途がたち、令和7年の開催に向け進捗が図れている。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	当初の予定通り、令和5年度に実行委員会の設立目途がたち、令和7年の開催に向け進捗が図れている。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	